

2022 年（令和 4 年）度
第 5 回東京都細胞検査士会役員会 議事録

記

日 時：2023 年 2 月 25 日（土） 12:00~13:00

場 所：杏林大学井の頭キャンパス F 棟 3 階 310

出席者（現地）：青木、阿部、五十嵐、池畑、和泉、稲垣、小穴、岡、押本、河村、岸本、郡、笹井
佐々木、渋谷、鈴木、関根、宅見、田邊、中島、濱川、葉山、藤田、藤山、町田、三宅、藪下、
庄野（監事）（敬称略、五十音順）

出席者（Web）：金室、寺尾（敬称略、五十音順）

委任状：浅見、古田、向山、若槻（敬称略、五十音順）

欠席者：石井（監事）

議事録：池畑、押本

議長選出：宅見氏が推薦され、承認された。

会則に基づき、役員 33 名（出席 29 名、委任状提出 4 名）により 2022 年度（令和 4 年度）第 5 回東京
都細胞検査士会役員会は成立。

I. 開会

II. 議 題

報告事項

1. 会長報告
2. 2023 年度予算案審議結果報告

審議事項

1. 学術研修会実施委員長について
2. 2023-2024 役員について

報告事項

1. 会長報告

日本臨床細胞学会報告

1) 学会予定

- ・第 64 回日本臨床細胞学会総会・春期大会
学会長：藤井 多久磨 先生
2023 年 6 月 9 日（金）～11 日（日）
会場：愛知県
- ・第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会
学会長：横山 正俊 先生
2023 年 11 月 4 日（土）～5 日（日）
会場：福岡県
- ・第 65 回日本臨床細胞学会総会春期大会
学会長：森井 英一 先生
2024 年 6 月 7 日～9 日
場所：大阪府
- ・第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会
学会長：進 伸幸 先生
2024 年 11 月 6 日～7 日
場所：千葉県
- ・第 66 回日本臨床細胞学会総会春期大会
学会長：田畑 務 先生
2025 年 6 月 27 日～29 日
場所：東京都
- ・第 64 回日本臨床細胞学会秋期大会
学会長：有廣 光司 先生
2025 年 11 月 8 日～9 日
場所：広島県

2) 細胞検査士セミナー・ワークショップの予定

- ・第 83 回細胞検査士教育セミナー
→場所：パシフィコ横浜（予定） 開催方法：ハイブリッド開催（予定）
- ・第 86 回細胞検査士ワークショップ
→場所・開催方法未定
- ・第 87 回細胞検査士ワークショップ
→場所・開催方法未定
- ・第 132 回細胞検査士養成講習会
→場所：杏林大学（予定） 開催方法：未定

3) 庶務委員会(2022 年 10 月 17 日現在)

全会員数：12,986 名

（正会員 5,720 名、準会員 7,023 名、名誉会員 38 名、功労会員 190 名、図書会員 15 件）

細胞診専門医および細胞診専門歯科医数：3,152 名

細胞検査士数：8,036 名（認定 10,942 名）

4) 細胞検査士委員会

- ・ 2022 年度（第 55 回）細胞検査士資格認定試験

合格者数：246 名

- ・ 2023 年 CT (IAC) 資格認定試験

開催日：6 月 24 日（土）

場所：A P 浜松町にて実施予定

東京都臨床細胞学会の報告

1) 会員数（2023 年 1 月 10 日現在）

名誉会員 19 名，功労会員 13 名，

医師会員 513 名，細胞検査士会員 1, 108 名

2) 第 42 回東京都臨床細胞学会学術集会

大会長：増田 しのぶ 先生（日本大学医学部 病態病理学系 腫瘍病理学分野）

開催日：2023 年 7 月 8 日（土）

開催形式：Web 開催

全国細胞検査士会の報告

1) 細胞検査士会役員選挙

2023 年・2024 年度細胞検査士会役員選挙結果（東京都、敬称略）

青木 裕志、阿部 仁、岸本 浩次、澁木 康雄、古田 則行、

町田 知久、三宅 真司の 7 名が当選。

2) 2023 年・2024 年度細胞検査士会会長・副会長選挙結果

2023 年 1 月 23 日現在、未実施。

2022 年度各委員会中間事業報告

1) 学術委員会中間事業報告

(1) 第 59 回 東京都細胞検査士会学術研修会（実施委員長：町田 知久）

開催日時： 2022 年 6 月～7 月（6 月 25 日収録）

開催形式： オンデマンド形式の WEB 開催

収録日： 6 月 25 日（土）

参加費： 無料

研修内容：

- ・ 特別講演 I 「婦人科領域における細胞診の信頼度：

良性 VS 悪性、良性 VS 良性、悪性 VS 悪性」
埼玉医科大学国際医療センター 安田 政実 先生

・特別講演 II 「婦人科手術における術中細胞診の意義」
東海大学医学部附属八王子病院 村松 俊成 先生

・症例検討 泌尿器, 甲状腺, 体腔液 3 題

・参加登録者：約 400 名

(2)第 60 回 東京都細胞検査士会学術研修会 (実施委員長：郡 秀一)

開催日時：2023 年 2 月 25 日(土)

開催形式：1)会場開催 杏林大学井の頭キャンパス F 棟 309・310(中継)

事前予約制先着 200 名

2)WEB 開催 録音録画ファイルのオンデマンド配信

事前予約制人数制限なし

会場開催参加の方は WEB 開催も参加可能

参加費：500 円

研修内容：

・特別講演：「呼吸器細胞診～鑑別診断とピットフォール～」
東京医科大学病院 三宅真司

・教育講演 1「子宮内膜細胞診－その細胞所見と免疫細胞化学染色の応用－」
日本鋼管病院 松井成明

・教育講演 2「泌尿器細胞診」
自治医科大学附属さいたま医療センター 河野哲也

・症例検討：子宮体部, 呼吸器, 体腔液 3 題

2) 広報委員会中間事業報告

(1)ホームページ (HP) の管理、掲載

(2)子宮の日の活動

「2022 LOVE 49 キャンペーン」は COVID-19 感染拡大の影響で資料配布は中止
配布資料は 2000 部 (細胞検査士会ティッシュ 3000 部) を 7 施設で設置・配布
配布資料内訳 (リーフレット、検査士会ポケットティッシュ、生理用品 5 種類)

配布施設：東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター
こころとからだの元氣プラザ、東京都がん検診センター

河北総合病院、日本赤十字社医療センター
東海大学医学部附属八王子病院

(3)がん患者大集会への協力

第18回がん患者大集会

COVID-19感染拡大のため、11月20日(日)にオンライン(YouTube配信)で行われたため、協力はできなかった。

3) 国際委員会中間事業報告

Covid19の影響により国際活動は停止中

4) 総務委員会中間事業報告

(1)東京都細胞検査士会会則ならびに内規の見直しと変更

(2)東京都細胞検査士会役員会慶弔運用規定(案)の提案

5) 庶務委員会中間事業報告

(1)2022年度第役員会議事録作成(みなし会議を含む 第1回~第3回)

(2)2022年度第1回総会議事録作成

(3)2022年度第1回~3回役員会開催運営

(4)2022年度第1回総会開催運営

(5)第59,60回学術研修会 演者・座長依頼状の発送・学会単位申請

2. 2023年度予算案審議結果報告

東京都細胞検査士会 2023年(令和5年)度 予算案

2023年1月21日

収入の部

科目	収入	
研修会参加費	400,000	研修会参加費 第61回、第62回ハイブリッド形式にて開催(参加費500円×800名で計上)
東京都臨床細胞学会助成金	800,000	
子吉の日活動助成金含む		
前年度繰越金(土庫基金含む)	4,862,091	
利息	21	
合計	6,062,112	

支出の部

科目	通信 運搬費	旅費 交通費	印刷 製本費	消耗品費	消耗什器 備品費	会費	贈附金	支払い 負担金	雑費	諸雑費	2023年度 予算額	2022年度 予算額
本部経費		35,000				70,000			10,000		115,000	71,500
学術委員会	5,000	70,000		5,000		405,000	110,000		5,000	5,000	605,000	315,000
国際委員会					2,000	24,000			30,000		56,000	56,000
広報委員会	85,258	7,000			250,000				12,000		354,258	329,285
総務委員会		24,000		3,000							27,000	27,000
庶務委員会	5,000	22,000	50,000	3,000						5,000	85,000	85,000
東京都学術集金積立金								150,000			150,000	300,000
合計	95,258	158,000	50,000	11,000	252,000	499,000	110,000	150,000	57,000	10,000	1,392,258	1,183,785

・本部経費:役員会現地開催2回とし旅費交通費35名×500円×2・会費(お弁当代)35名×1,000円×2を計上。
 ・第61回研修会会場費28万円、第62回研修会会場費12.5万円計上。
 ・2022年度は第41回東京都臨床細胞学会学術集金開催に東京都学術集金積立金から30万円支出を計上。
 2023年度は例年の15万円を計上。

	予算
収入合計	6,062,112
支出合計	1,392,258
総合計(次年度繰越金)	4,669,854
	東京都学術集金 積立金85万円含む

* 東京都学術集金積立金
 ・2013年度から開始
 ・2013年度から2016年度まで毎年10万円積立
 ・2017年度から年15万円に増額
 ・2018年度に30万円支出
 ・2020年度時点で総額70万円になり、その中から
 第59回細胞学会秋期大会寄付金30万円を支出

※Web 審議により会員 137 名の承認を得たことを報告

審議事項

1. 学術研修会実施委員長について

学術委員会内規に沿い、学術研修会実施委員長が推薦され役員の承認を得た。

2024 年度：藤山淳三 2025 年度：藪下竜司 2026 年度：葉山綾子

2. 2023-2024 役員について

役員会運営を円滑に行うために次期（2023-2024）会長、副会長、監事の人選を行った。

代表役員会で推薦または立候補にて承認された候補者を役員会で審議し、承認された。

会長：澁木康雄 立候補

副会長：阿部 仁 立候補

副会長：青木裕志 立候補

監事：石井保吉 推薦

監事：笹井伸哉 推薦

その他

1. 今後の学術研修会の運営について

会員（61 名分）のアンケート調査結果（第 59 回学術研修会での調査結果）

現地開催希望：1.6% Web 開催希望：49.2% ハイブリッド開催希望：49.2%

意見①

学術研修会は年2回の開催なので、1回は現地開催、もう1回はWeb開催にしてみるのはいかがでしょうか。

意見②

細胞検査士は女性が多く、働く女性のことを考慮するとオンデマンド開催は残した方が良い。

意見③

現地開催、Web開催、ハイブリッド開催それぞれの経費を調査し議論した方が良い。

意見④

コロナ前の状態に戻した方が良い。(現地開催のみ)

※2023年5月8日新型コロナウイルス感染症が「5類」へ移行された後、社会情勢を考慮して判断する。